

フィールド・スタディ プログラム情報シート

2026 年春semester

プログラム名	(ST) サステナビリティ観光の視点から考える宿泊と地域社会 — 熊本市内・南阿蘇にみる伝統と現代の共存		
担当教員	上原 優子	実習地	熊本県 熊本市／南阿蘇村
開講言語	日本語	単位数	2
募集人数(最大)	15 名	最小実施人数	5 名
シラバス	https://syllabus.apu.ac.jp/syllabus/s/a-syllabus/a0ZQ8000004S4QSMA0/202611329		

申請要件・科目分野

学部	カリキュラム	科目分野	科目名	申請可能semester
APS	2017	APS 専門教育科目	APS フィールド・スタディ	3～7
	2023	他学部科目	フィールド・スタディ	3～7
APM	2017	他学部科目	APS フィールド・スタディ	3～7
	2023	他学部科目	フィールド・スタディ	3～7
ST	2023	ST 専門教育科目	フィールド・スタディ	1～7

赤字は 2026/7/1 更新

プログラム日程(予定)

授業	日程	時限	授業概要	形式
事前 授業	7/1(水)	5-6 限	オリエンテーション・グランドルール作成 宿泊施設の経営	対面(APU)
	7/15(水)	5-6 限	熊本・南阿蘇という土地の持つ可能性 研究および分析手法	対面(APU)
実習	8/31(月)	13:00 立野駅集合 「地獄温泉 青風荘」にて、学生向け特別講義及び見学、ディスカッション		
	9/1(火)	(AM) DMO に関するヒアリング (PM) 南阿蘇観光協会訪問、南阿蘇旅館見学ツアー及びインタビュー 「料理谷邸葛籠」にて見学・ディスカッション		
	9/2(水)	(AM) 料理谷邸葛籠の学生向け特別講義 (PM) 城下町である古町散策及び市場調査、ディスカッション及び発表準備		
	9/3(木)	(AM) 料理谷邸葛籠にて清掃体験及び発表準備 (PM) 各グループによる発表及びフィードバック 15:30 料理谷邸葛籠にて解散		
事後 授業	9/9(水)	2-5 限	振り返りとまとめ、最終プレゼンテーション準備	オンライン
	9/10(木)	3 限	最終プレゼンテーション	オンライン

プログラム参加費用(目安)

大学徴収 ※受講確定後～5/22(金)14:00 までに支払い	41,000 円 (5 名の場合)、39,000 円 (10 名、15 名の場合) <ul style="list-style-type: none">- 国内旅行保険(1,000 円)- 委託費【宿泊費(3 泊)、現地におけるグループ活動時の交通費以外の全ての移動費】
現地で各自が支払い	<ul style="list-style-type: none">- 実習地までの往復交通費(学生が各自手配)- 実習中の食費- グループ活動時の交通費- その他上記に含まれない費用

アウトリーチ・リサーチ・オフィス
atfs@apu.ac.jp